

【大須賀中学校区保幼小中一斉】 引き渡し訓練 ありがとうございました

9月7日に行った引き渡し訓練の際には、保護者の皆さんに御協力いただきまして、ありがとうございました。大須賀中学校区の保育園、幼稚園、小学校、中学校が一斉に行い、実際の引き渡しに近い形で進められました。

訓練後、保護者の皆様からたいへん多くの御意見・御感想をいただきました。ありがとうございました。主なものを御紹介します。



迎えに来た保護者からすぐに引き渡して欲しい。

実際に地震が起これば、子どもはすぐに何も持たずに3階の津波避難教室に避難します。津波警報が解除された後、一度教室に戻って帰る支度をして、再び津波避難教室に移動して保護者の迎えを待ちます。訓練では午後2時に津波警報が解除された想定で、実際の時と同じように動きます。500人近くの子どもの教職員が廊下を移動し、点呼を確実に行って、引き渡しの体制が整うには20分間ぐらひはかかります（今回は14:20に引き渡しが始まりました。）この間、保護者の方にはお待ちいただいております。過去に、引き渡しの体制が整う前に引き渡したために、救助が遅れた事例が報告されています。体制が整った後は、迎えに来た保護者から引き渡しを行います。

校舎図が掲示してありましたが、廊下が混雑したり、引き渡し教室が分からなくなったりしました。廊下の右側を歩くことを徹底したい。

校内放送で右側を歩くようお願いしましたが、徹底されなかったようです。お迎えに来られた方は右側を歩くようお願いします。現在すべて3階で行っている引き渡しを自分の教室に変更することも検討していきます。

引き渡しの時、避難する場所を聞かれましたが、子どもが答えられませんでした。基本的なことなので、家族で確認したいと思います。1年に1度のこのような機会を大切にしたいと思います。

子どもを引き渡すときに避難場所をお聞きするのは、避難場所を確認するとともに、学校を再開する際に必要だからです。東日本大震災の時は、避難所や自宅等を回って、一人一人の所在を確認してから学校を再開しましたそうです。

子どもは黙って静かに行動（迎えを待っていた。）できていましたが、保護者の中には無駄話が多く、真剣に欠けている方もいて残念でした。

今回の御意見・御感想の中で最も多かったものです。本校では、地震・津波以外の場合を含め、毎月防災訓練を行っています。子どもは訓練のたびに黙って早く避難できるようになってきています。

東日本大震災では、最後の子どもを保護者に引き渡したのが夜中の12時ごろという例を聞きました。場合によっては迎えに行くのに時間がかかることや、自宅に子どもだけにいるときのことを子どもに話しておくことが大切です。（学校には一泊することを想定して水、食糧、毛布等を備蓄してあります。）